

学院各校 ICT 関連サポート業務

1. 概況

本業務は、池袋中学校・高等学校（以下、池袋中高）および新座中学校・高等学校（以下、新座中高）を対象に 2015 年 4 月より開始、2016 年 4 月から立教小学校も対象に加わった。

本業務は、学院各校のシステム運用と ICT 導入企画のサポートである。ただし、池袋中高においては前年度から引き続きシステム導入プロジェクトの推進メンバーとして関わっている。

2. サポート状況

(1). インシデント対応

表 1 は、メディアセンターが対応した学院各校の年間インシデント件数である。本表は各校から直接受けた要求を対象としており、学内関係部署や保守ベンダーを通じて対応したサポートは計上していない。

なお、メディアセンターにおけるインシデント記録は、システム動作不具合の一次切り分けまでとなっている。（各校での保守ベンダーとの契約基準がメディアセンターと異なるため。）

	2017 年度			前年度		
	障害	要求	合計	障害	要求	合計
立教小学校	0	2	0	0	0	-
池袋中高	0	9	7	0	64	64
新座中高	0	27	27	0	16	16

表 1：学院各校 インシデント件数（前年度との比較）

池袋中高ではインシデント件数が大幅に減少している。2017 年度に更新した教職員 PC システムのリプレース方針のひとつが旧システムのシンクライアント管理から FAT クライアントをメインとした運用への切り替えであった。その結果、旧システムで多く発生していた仮想 PC のトラブルが無くなったことが、インシデント件数減少のいちばんの理由といえる。

一方、新座中高においては、2016 年度から件数が増えており、2017 年度は教職員 PC における WindowsUpdate に伴うトラブルが目立っている。

図1と図2は、中高両校インシデントのコンポーネント内訳を表しており、上述のとおり教職員PCの件数が多くを占めている。

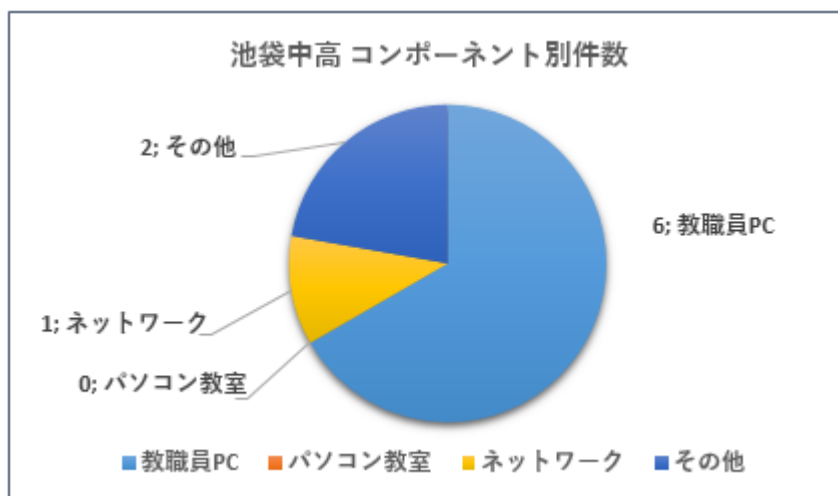


図1：池袋中高 コンポーネント別件数 (2017年度)

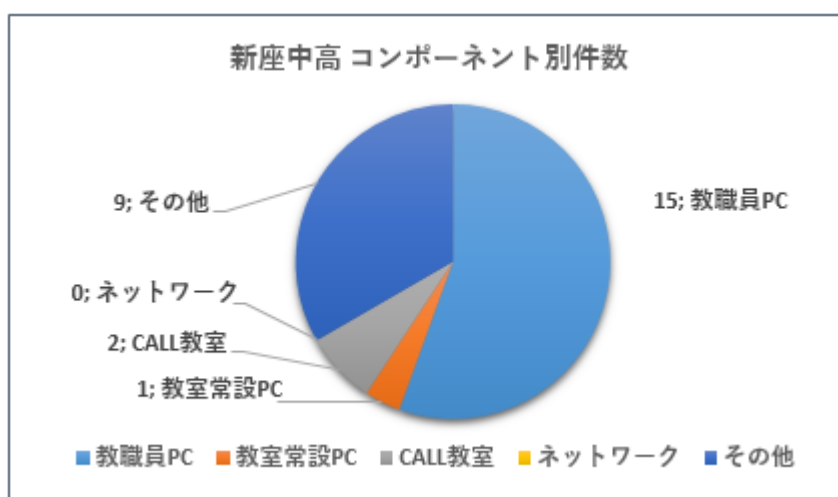


図2：新座中高 コンポーネント別件数 (2017年度)

(2). システム導入プロジェクト参加

池袋中高においては、前年度から引き続き同じ体制で2017年度もシステム導入プロジェクトの企画に関わり、提案依頼書の作成、システム選定、システム導入業務、納品検証等を中高担当者と共に遂行した。2014年度に構想されていた「2018年度 生徒タブレット運用」で必要不可欠な校内無線LANシステムを新たに整備し、その結果、生徒タブレットをはじめ教員PCや教室プロジェクタを無線LANに接続して授業が可能となった。2017年度は池袋中高のICT環境が大きく進展した年であったといえる。

更に、ICT 環境整備に並行して、校務システム・入試システムや授業支援システムの検討が進められた。業務系システムに関しては、中高教職員が主体となってプロジェクトを推進し、メディアセンターではH/W面のサポートに携わった。

新座中高においては、複数年で段階的に置き換えている教職員 PC に関してシステム更新支援の業務を遂行した。

立教小学校においては、教職員 PC システム更新の際のシステム構成検討に関するサポートを行った。

池袋中高におけるシステム導入実績は、以下のとおりである。

- ① 教職員 PC システム更改
 - a. 導入時期：2017 年 8 月
 - b. 概要
 - ・ 導入から 5 年半経過した教職員 PC システムと PC 約 100 台の更改
 - ・ 生徒タブレット運用を踏まえて教員 PC に「2in1」タイプを選定
 - ・ 新たにクライアント管理システムおよび標的型攻撃対策を導入
 - ・ 先に計画している校務システム更新を踏まえたシステム環境
- ② 無線 LAN システム整備
 - a. 実施時期：2017 年 8 月
 - b. 概要
 - ・ 校内全域（一部エリアを除く）にクラウド型無線 LAN アクセスポイント計 76 台を設置
 - ・ クライアント用途（教職員 PC、生徒タブレット、プロジェクタ等）ごとに認証管理が可能なシステムを採用
- ③ 生徒タブレット導入
 - a. 導入時期：2018 年 3 月
 - b. 概要
 - ・ 高校 1 年生全員の個人タブレットと 40 台共用機の新規導入
※毎年、新 1 年生を対象に導入し、2020 年度に全校生が使用
 - ・ 学内・学外でのタブレット利用を制御する MDM を採用
 - ・ 授業支援システムの本格利用を開始
- ④ 入試システム導入
 - a. 導入時期：2018 年 1 月
 - b. 概要
 - ・ 校務システム導入に伴う同系列システムの導入

3. 今後の課題

池袋中高においては、2017年度から取り組んでいる校務システムの導入も2018年夏季に本稼働の見通しを立てており、2014年に構想したシステム導入プロジェクトがひと段落する。しかしながら、導入初年度の生徒タブレットに関して、導入時の調整事項が残されていることや運用するなかで表面化する事象が予想されるため、次年度も継続して運用支援に取り組み、次回（2019年度）導入に反映させる必要がある。

更に、池袋中高主体で計画している校内放送システム導入と中学校教室プロジェクト整備は無線LANシステムに関係する仕組みとなるので、池袋中高と情報連携を図ってゆく。

新座中高においては、次期教室PC更新に向けた動きが察せられる。今後のICT環境整備では、先に予定されている校内無線LANシステムと絡めた検討が想定されるため、新座中高と情報連携と図り、整備計画の各段階で支援に応じられるよう準備を図る。

《今後のシステム導入予定》

(1). 立教小学校

- ① 校内LANケーブル再敷設 [2018年度]

(2). 池袋中高

- ① 校務システム正式稼働 [2018年度]
- ② 校内放送システム導入 [2018年度]

(3). 新座中高

- ① 教職員PC更新 [2016-2018年度]
- ② PC教室等システム更新 [2019年度(予定)]
- ③ CALL教室システム更新 [2019年度(予定)]
- ④ 校内無線LANシステム整備 [2020年を目途]

以上